

(農林水産業のICT－2)

**豊後牛の個体識別番号入力によるトレーサビリティシステム
(JA全農おおいた)**
<http://www.jaoic.net/bungogyu/>

[概要]

消費者が豊後牛肉を安心して食すため、「出生日、血統、飼育者、飼料内容、BSE検査」を全て証明するシステム。

[コラム]

平成13年に発生したBSEは、肉用牛農家にも消費者にも大きな影響を及ぼしました。このようなBSEなどの病気が発生した時の対策のため、現在では日本のすべての牛に10桁の番号（個体識別番号）を付けて登録しています。それとは別に、JA全農大分県本部では、消費者の皆様に安心して牛肉を食べていただけるよう、牛肉の生産履歴情報を消費者のみなさんにお知らせする「豊後牛肉通行手形」を発行するようになりました。これは、消費者の皆様が「豊後牛」を安心してご購入していただけるよう「出生日、血統、飼育者、飼料内容、BSE検査」をすべて証明するシステムです。このシステムでは、通常の生産履歴に加え生産者の写真をのせてています。生産者の顔が見える事で、より安全で安心な豊後牛をアピールすることができます。消費者の皆様だけでなく小売店からの評判もよく、店頭に通行手形を表示して豊後牛を販売している所もあります。

全ての牛肉は、BSE検査を行い安全を確認されたものですので、安心してお召し上がり下さい。

(JA全農おおいたのホームページより)

(問い合わせ先)

全国農業協同組合連合会大分県本部(JA全農おおいた)

TEL:097-544-9997